

木更津市高齢者保健福祉計画 第 9 期介護保険事業計画

令和 6 年度 実施状況

－ 自己評価の基準 －

- A：計画以上の取り組みをしている
- B：概ね計画どおり（５１％～１００％）
- C：取り組んでいるが達成には至らない（１％～５０％）
- D：取り組めていない

基本方針１：健康で心豊かにいきいきと過ごせるように ～健康づくり、介護予防及び自立支援の推進～

１．健康づくり、重症化予防、介護予防・フレイル対策の推進

(1)健康づくりの推進

① ヘルスマネジメント力向上事業（健康推進課）【９期計画 P 70】

実施状況	評価
○市民の健康意識の向上を図るため、「らづFit」（歩数計つきアプリ）については、各事業やイベント等で周知を行ったことにより、令和５年度末以降の新規登録者数１，５４９人を合わせ、登録者数が９，７９３人まで増加した。 ○「らづBody」（体組成計）は各公民館、イベント会場、健（検）診会場、朝日庁舎等での測定会を実施し、自身の体の状態を知り、生活習慣を見直す機会の提供に取り組んだ。	B

② 望ましい栄養と健全な食生活の推進（健康推進課）【９期計画 P 70】

実施状況	評価
○公民館での健康教室や通いの場等において、低栄養予防の食事についての啓発を行った。 ○健康診査後の栄養相談においては、低栄養予防・生活習慣病の重症化予防をふまえ、個々に合わせた食事指導を実施した。	B

③ 特定健康診査事業（保険年金課）【９期計画 P 70】

実施状況	評価
毎年６月～１０月に実施し、集団健診はインターネットや郵送等による予約制とし、また土日開催等により受診者の利便性を図っており、申請件数は年々増加の傾向となっている。 未受診者には再通知による受診勧奨を実施し受診率向上に努めていることから、令和５年度の実績は千葉県内５４市町村中１８位と好成績となっている。 目標受診率４５％は未達成であるが、千葉県平均３８．８％を４．７ポイント上回り４３．５％となっている。	B

④ 後期高齢者健康診査事業（保険年金課）【９期計画 P 71】

実施状況	評価
○実施方法 個別健診：毎年６月～１０月、２月に協力医療機関で受診 集団健診：ＪＡ木更津市の管内で行われるＪＡ組合員健診で受診 短期人間ドック：通年で市と委託契約した検査医療機関で受検 ○対象者 後期高齢者医療被保険者数：２０，８５４人（令和６年４月１日時点） 受診券発送数：令和６年６月から１０月受診勧奨者 ２０，０８９人分 令和７年２月受診勧奨者 １，０９６人分 ○スケジュール 受診券等送付：令和６年６月から１０月受診勧奨者分 令和６年５月２２日発送 令和７年２月受診勧奨者分 令和７年１月２０日発送 ※令和７年２月受診勧奨者は年齢到達により被保険者となる者	B

⑤ 短期人間ドック助成事業（保険年金課）【９期計画 P 71】

実施状況	評価
○特定健康診査の受診率の向上を目的とし、人間ドック、ＪＡ健診への費用を助成し他健診との連携を図った。 【国民健康保険加入者】 助成件数：令和６年度は、木更津市の国民健康保険加入者に対して、短期人間ドックの助成を受けた件数は約１，４８４件だった。 【後期高齢者医療保険加入者】 助成件数：令和６年度は、後期高齢者医療保険加入者に対して、短期人間ドックの助成を受けた件数は６４５件だった。	B

⑥ がん検診受診率向上対策（健康推進課）【９期計画 P 72】

実施状況	評価
がん検診受診率向上対策として、肺がん検診と大腸がん検診の同日実施を行ったほか、予約の埋まりやすい胃がん検診と乳・子宮がんのセット検診の実施日を増やすなどして受診しやすい環境の整備を行った。 それにより、すべてのがん検診において令和５年度よりも受診率が向上した。	B

⑦ 歯・口の健康（健康推進課）【9期計画 P72】

実施状況	評価
○歯科健診を受けることができる環境整備として成人歯科健康診査（40・50・60・70歳対象）を実施した。 ○公民館や高齢者サークル等の通いの場において、適切な口腔ケアやオーラルフレイル予防に関する知識の普及を目的にオーラルフレイル予防講座を実施した。	B

⑧ 予防接種の実施（健康推進課）【9期計画 P73】

実施状況	評価
○インフルエンザ 実施期間：令和6年10月1日から令和7年1月31日 接種者数：18,899人 接種率49.7% （前年度 接種者数：19,945人 接種率52.5%） ○高齢者肺炎球菌（令和6年度から65歳のみ） 実施期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日 接種者数：267人 接種率18.2% （前年度 接種者数：1,199人 接種率20.6% うち、65歳以上の接種者数：471人 接種率32.0%） ○新型コロナウイルス感染症 実施期間：令和6年10月1日から令和7年3月31日 接種者数：4,494人 接種率11.8%	B

⑨ スポーツ活動の推進（スポーツ振興課）【9期計画 P73】

実施状況	評価
○春の市民歩け歩け大会 令和6年4月14日（日） 清川中学校～小櫃堰公園～清川中学校・・・約6.5Km 参加者46名うち65歳以上20名 ※上記大会の中で、短時間で効率的な有酸素運動が可能で、筋力アップや姿勢改善も期待できるポールウォーキング体験会を実施した。	B

(2) 生活習慣病重症化予防の推進

① 生活習慣病予防事業（保険年金課）【9期計画 P73】

実施状況	評価
○特定保健指導の実施 厚生労働省が定める基準該当者に対し、外部委託と市直営で実施した。 特定健康診査の結果に基づき、メタボリックシンドローム該当者や予備群に対して、特定保健指導を実施した。 ドラッグストアヤックス店舗での土日夜間の保健指導やZoom利用も可能とし、利便性を図っている。令和5年度は千葉県内54市町村中15位と好成績となっている。目標値37.5%は未達成であるが、千葉県平均23.6%を12.5ポイント上回り36.1%となっている。 これにより、生活習慣病の予防と重症化防止を図った。 指導後も定期的にフォローアップを行い、生活習慣の改善状況を確認し、必要に応じて追加の指導を行った。 ○慢性腎臓病の予防対策として君津地域四市（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）では、新規人工透析患者の減少を目指して、腎臓病地域連携パスの運用を行い、かかりつけ医、専門医、行政が連携し、早期から適切な医療管理を行うことで、慢性腎臓病の重症化予防に取り組んだ。 令和5年度の実施状況 地域連携パス発行件数 904件 かかりつけ医からの報告件数 485件 ○脳心血管疾患の重症化予防対策としてⅡ度以上の高血圧で未治療者および心電図所見で虚血性の所見があり医療管理をしていない者等に保健指導を実施した。 令和6年度の実施状況 保健指導率 85%	B

(3) 介護予防・フレイル対策の推進

① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（健康推進課）【9期計画 P76】

実施状況	評価
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、令和5年度3圏域（岩根・富来田・波岡地区）から令和6年度は2圏域（金田・清川地区）増やし、計5圏域で展開し、地域に応じた介護予防・フレイル予防を図った。	B

② サービス・事業活動の充実（高齢者福祉課）【9期計画 P76～77】

実施状況	評価
○訪問型サービス・活動C（短期集中予防サービス） 5名の対象者に各6回、管理栄養士による訪問指導を実施。 ○通所型サービス・活動C（短期集中予防サービス） 4事業所に委託し実施した。	B

③ 一般介護予防事業の推進（高齢者福祉課）【9期計画 P78】

実施状況	評価
○介護予防教室（自立生活体操） 406回開催 介護予防教室（高齢者の食と運動の元気アップ教室） 8コース開催（各2回） ○介護予防教室等への医療専門職（歯科衛生士・理学療法士等）の派遣 66回 ○「聞こえ」の普及啓発として、講演会を開催した。 ○「住民主体の通いの場」として「きさらづ筋力アップ体操」の活動団体を支援 42団体 688名（R7. 4. 1現在65歳以上人口37, 829名） ○きさらづ筋力アップ体操交流会の開催 2回 ○きさらづ筋力アップ体操への理学療法士の派遣 32回	B

2. 地域における自立した日常生活の支援

(1) 生きがいづくりの支援

① シニアクラブへの支援（高齢者福祉課）【9期計画 P79】

実施状況	評価
高齢者の生きがいと健康づくり、長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与する活動、また、単位老人クラブの活動に対して補助金を交付し、シニアクラブへの支援を行った。	B

② 高齢者生きがい対策支援事業（高齢者福祉課）【9期計画 P79】

実施状況	評価
見守り活動を兼ね、記念品を配布する配布型の敬老会を4地区、実際に会場に集まって参加する参集型の敬老会を11地区、合計15地区全地区で実施した。	B

③ 老人福祉センターの管理・運営（高齢者福祉課）【9期計画 P80】

実施状況	評価
○平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者の利便性の確保と効率的な運営を行っている。 ○送迎バスの運行、また、定期的及び時期に応じたイベントを実施することで、高齢者の健康増進や生きがい活動の場としてより多くの高齢者が利用できるよう努めた。	B

(2) 社会参加・就労機会の拡充

① 木更津市シルバー人材センターの支援（高齢者福祉課）【9期計画 P80】

実施状況	評価
木更津市シルバー人材センターの健全な運営を図り、もって高齢者の福祉の増進に資するため、予算の範囲内において、木更津市補助金等交付規則及び木更津市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に基づき、シルバー人材センターに補助金を交付するとともに会員募集等に関する広報活動等の支援を行った。	B

② 再就職支援セミナー等の開催（産業振興課）【9期計画 P81】

実施状況	評価
○千葉県ジョブサポートセンターと4市共催事業 中高年再就職支援セミナー 令和6年8月27日（火）10時00分～12時00分＆個別相談 （対象）概ね40～65歳で求職中の方 ※会場：君津市役所 5階 小会議室 （申込者数）25名 （参加者数）19名（うち個別相談利用：4名） （定員）30名 （内容）高齢者の求人情報の収集方法・応募書類の書き方・面接対策など	B

④ シニア世代を対象とした働き方の啓発セミナー（産業振興課）【9期計画 P81】

実施状況	評価
今年度はシニア世代だけでなく、幅広い世代の方向けの就労支援事業を行ったため、県などが開催しているセミナーなどのチラシを窓口に配架するなどして周知のみ行った。 令和7年度には再び開催する予定としている。	D

基本方針2：住み慣れた地域で安心して暮らせるように ～地域や関係者が連携した総合的な支援～

1. 総合的な生活支援、医療・介護等の連携の推進

(1) 地域包括支援センターの機能強化（高齢者福祉課）【9期計画 P82】

実施状況	評価
○地域包括支援センターを運営し、相談・援助を行い包括的な高齢者等の支援を引き続き実施するとともに、令和6年4月1日より市内6箇所目の地域包括支援センター（東部地域包括支援センター）を設置し、総合相談支援機能を強化した。 ○三職種（保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士）を高齢者福祉課内に配置し、地域包括支援センター間の総合調整や高齢者虐待や困難事例への同行支援など後方支援等を行った。	B

(2) 地域ケア会議の推進

① 地域ケア会議の推進（高齢者福祉課）【9期計画 P83】

実施状況	評価
○地域ケア圏域会議（包括主催） 16回開催 ○地域ケア個別会議（包括主催） 6回開催 ○地域ケア推進会議（市主催） 1回開催 ○自立支援に資する地域ケア個別会議（市主催） 4回開催	B

(3) 在宅医療・介護連携の推進

① 在宅医療・介護連携推進協議会の運営（高齢者福祉課）【9期計画 P84】

実施状況	評価
①在宅医療・介護連携推進協議会を3回開催した。 ②協議会主催による多職種連携研修会を「地域における在宅での看取りについて」をテーマに開催した。 ③各部会の主な活動は次のとおり。 ○在宅医療・介護連携部会 4回開催 ・在宅医療・介護パンフレット更新 ○在宅介護・認知症施策部会 4回開催 ・きさらづオレンジフェスタ（認知症カフェフェスティバル・認知症メモリーウォーク合同）開催 ・認知症ケアパスの更新 ○社会福祉・生活支援部会 4回開催 ・地域ケア推進会議、市民団体立ち上げ支援の冊子作成・講演会の開催	B

(4) 生活支援サービスの推進

① 生活支援体制整備事業（高齢者福祉課）【9期計画 P86】

実施状況	評価
○波岡東地区（平成31年2月配置）、岩根東地区（令和2年1月配置）、請西・真舟小地区（令和3年10月配置）、清川地区（令和5年4月配置）の4圏域に各1名の第2層生活支援コーディネーターが配置している。 ○第1層協議体である「木更津市在宅医療・介護連携推進協議会・社会福祉・生活支援部会」において、令和6年11月に「おたがいさまの地域づくり講演会」を開催し、地域住民への普及啓発を含め、活発な活動の支援も行った。	B

(5) 認知症施策の推進

① 認知症に関する普及啓発（高齢者福祉課）【9期計画 P87】

実施状況	評価
○認知症サポーターの養成について 講師役である「キャラバン・メイト」が、認知症サポーター養成講座を住民や学校、地域住民・企業等の団体に向けて実施している。広報やホームページで参加者を募り、市主催の市民対象講座も開催している。 認知症サポーター養成講座の開催機会の拡充や講座内容の研鑽を目的に、キャラバン・メイト、オレンジ・メイト交流会を開催した。 ○認知症ケアパスについて 市役所の窓口・地域包括支援センター・公民館・郵便局・薬局・歯科医院等で配布している。在宅介護・認知症施策部会において、認知症ケアパス内の情報の追加や更新をした。 ○認知症に関する普及・啓発イベント（認知症カフェフェスティバル）を開催した。	B

② 認知症の予防（高齢者福祉課）【9期計画 P88】

実施状況	評価
○コグニサイズについて 認知症サポーターに関わる各講座や介護予防の講座、交流会等で紹介と実演（体験・実践）を行い、普及・啓発をしている。 ○介護予防教室や通いの場について 公民館等での介護予防教室（自立生活体操）の実施や、通いの場（きさらづ筋力アップ体操）の活動団体の支援を行った。	B

③ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援（高齢者福祉課）【9期計画 P89】

実施状況	評価
○認知症初期集中支援チーム（2チーム体制） 木更津東邦病院チーム 会議24回（内リモート24回） 訪問2回 木更津病院チーム 会議17回（内リモート17回） 訪問1回 ○認知症地域支援推進員 市役所・地域包括支援センター等に配置し、認知症の人や家族を支援する相談業務等を実施。毎月「認知症地域支援推進員会議」を開催し、市の認知症施策の企画検討や、認知症地域支援推進員の取り組み等について情報共有している。 【配置人数】28名（令和7年3月31日時点） （市役所4名、地域包括支援センター23名、木更津市社会福祉協議会1名） ○認知症対応力向上研修 市民向けの認知症対応力向上として、感染症対策としても有効なYouTube動画（寸劇及び医師の解説）を作成し、令和4年度より配信。 ○認知症カフェの取り組み支援 認知症に関する講座等で、認知症カフェについて周知。 ○認知症家族交流会の開催、認知症高齢者見守り事業・認知症高齢者等見守りシール事業を実施 （基本方針2-3（2）「家族介護者への支援」を参照）	B

④ 認知症バリアフリーの推進（高齢者福祉課）【9期計画 P90】

実施状況	評価
○認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症サポーターの養成に加え、認知症サポーターが認知症に関する知識と対応スキルを更に深めるステップアップ講座を開催し、地域ごとに作る「チームオレンジ」の構築を行う人材を養成している。 ○認知症高齢者見守り事業 認知症高齢者等見守りシール事業を実施 （基本方針2-3（2）「家族介護者への支援」を参照）	B

(6) 重層的相談支援体制の強化

① 重層的相談支援体制の強化（福祉相談課）【9期計画 P91～92】

実施状況	評価
○木更津市社会福祉協議会へ業務を委託し、コミュニティソーシャルワーカーなどの機能を活かし、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業を行っている。 ○多機関協働事業については福祉相談課と連携をとり実施している。	B

2. 地域支えあい社会の強化

(1) 地域共生社会の実現に向けたまちづくり

① 協働のまちづくり（市民活動支援課）【9期計画 P93】

実施状況	評価
○地域住民の交流促進や福祉の増進に関する取組など、地域の課題解決に向けた活動を行う地区まちづくり協議会に対して、補助金の交付による財政的支援や延べ226名の地区担当職員（※）の派遣による人的支援を行った。 ○地区まちづくり協議会が未設立の2地区に対して、延べ8回協議の場を設けるなど設立に向けて積極的に働きかけを行った。 ※地区担当職員……市職員を各地区に配置し、地区まちづくり協議会の活動や地区の防災活動などに参加を行う制度。	B

② 生活支援整備体制整備事業（高齢者福祉課）【9期計画 P93】

実施状況	評価
○波岡東地区（平成31年2月配置）、岩根東地区（令和2年1月配置）、請西・真舟小地区（令和3年10月配置）、清川地区（令和5年4月配置）の4圏域に各1名の第2層生活支援コーディネーターを配置している。 ○第1層協議体である「木更津市在宅医療・介護連携推進協議会・社会福祉・生活支援部会」において、令和6年11月に「おたがいさまの地域づくり講演会」を開催し、地域住民への普及啓発を含め、活発な活動の支援も行った。	B

(2) 見守りネットワークの充実

① 高齢者見守りネットワーク事業（高齢者福祉課）【9期計画 P94】

実施状況	評価
○協力事業者から通報を受けた場合には、地域包括支援センターや民生委員と協力し安否確認を行い、その後、関係機関で協力し支援を行った。 ○協力事業者へ高齢者等見守りキーホルダーや認知症見守りシールのパンフレットを送付し、見守り活動に活用していただくよう周知した。 ○社会福祉士会議に出席し、高齢者見守りネットワーク事業協力事業者の募集を呼びかけた。	B

② 地域高齢者見守り事業（高齢者福祉課）【9期計画 P94】

実施状況	評価
対象者の情報を地区担当民生委員に提供して、見守り活動を行っていただいた。	B

③ 地域高齢者把握事業（高齢者福祉課）【9期計画 P94】

実施状況	評価
○対象者が地域包括支援センターとつながりを持つことで、支援や介護が必要になったときに早期相談ができる体制を目的としているため、申請の受付は地域包括支援センターにて行った。その後定期的に申請者の健康状態等を把握するため誕生月に更新の手続きを行った。 ○申請者情報を登録した見守りキーホルダーを配布することで、在宅・外出時の緊急事態に的確な支援を行うことができた。	B

(3) 権利擁護の充実

① 市長による後見等開始の審判の申立事務（福祉相談課）【9期計画 P95】

実施状況	評価
○権利擁護定例会の結果を受けて、木更津市社会福祉協議会等からの依頼により、市長による後見等開始の申し立て事務を行っている。	B

② 成年後見制度の利用に係る経費に対する助成（福祉相談課）【9期計画 P95】

実施状況	評価
○報酬の支払いが困難な人に対して、木更津市成年後見人等報酬助成金交付規則に基づき助成を行った。	B

③ 市民後見人の養成（福祉相談課）【9期計画 P95】

実施状況	評価
○市民後見人養成講座を実施し、20名の方が養成講座修了生となった。 ○養成講座終了生を対象にフォローアップ研修を実施し、21名が参加した。	B

④ 地域連携ネットワークの更なる構築、中核機関の機能強化（福祉相談課）【9期計画 P96】

実施状況	評価
○令和元年8月に「きさらづ成年後見支援センター」を中核機関として設置依頼、成年後見制度の利用促進を目的に木更津市権利擁護推進会議及び権利擁護支援定例会議を行っている。地域連携ネットワークを構築するとともに、専門職の意見等を参考にする体制を確立し、機能強化を図っている。	B

⑤ 成年後見制度の利用促進（福祉相談課）【9期計画 P96】

実施状況	評価
○市やきさらづ成年後見支援センターに成年後見等を必要としている人の情報が寄せられるように、出前講座や市民向け研修会を開催して、広報及び啓発活動を行った。	B

(4) 防災・安全対策の強化

① 避難行動要支援者登録の推進（危機管理課）【9期計画 P96】

実施状況	評価
○関係課（市民課、障がい福祉課、介護保険課）からのデータをもとに避難行動要支援者名簿の更新を実施した。更新により新たに避難行動要支援者となった約1,800人へ、令和7年2月に同意の確認及び個別避難計画調査票を送付し、個別避難計画作成数増加に取り組んだ。 ○災害時に真に支援を必要とする方に支援の手を回すため、要件の見直しを行ったほか、庁内の連携体制を構築するため、庁内会議を4度実施し、現状の課題等を共有した。 ○地域での共助力を向上させるため、同意を得られた方については、避難支援等関係者（自治会、民生・児童委員、まちづくり協議会、地域包括支援センター等）や警察署等への配布を実施した。	B

② 高齢者の避難所の確保（危機管理課）【9期計画 P96】

実施状況	評価
○令和6年度については、新たに福祉避難所の運営に関する協定締結はなかったが、新たに2施設と協定締結に向けた協議を開始した。 引き続き、福祉関係課と受け入れ施設の確保に向けて協議を行っていく。 ※令和7年3月31日時点で、9施設と福祉避難所の運営に関する協定を締結。	C

(5) 高齢者虐待防止の推進

① 高齢者虐待の早期発見・相談体制の強化（高齢者福祉課）【9期計画 P97～98】

実施状況	評価
○支援機関がそれぞれの種別・職種等に応じた役割分担をするともに、連携し支援をしている。 ○高齢者虐待防止ネットワークを活用し、適宜会議を開催。支援にあたっての課題を抽出、再検討し虐待防止につなげている。	B

② 要保護者の緊急一時保護施設の体制整備（高齢者福祉課）【9期計画 P97】

実施状況	評価
○緊急保護が必要な高齢者と認めた場合、早期に対応ができるよう介護老人福祉施設へ相談など働きかけた。 ○君津四市老人福祉施設連絡協議会や地域包括支援センターと定期的に情報共有・意見交換会を行った。	B

③ 養護老人ホームへの措置（高齢者福祉課）【9期計画 P97】

実施状況	評価
○地域包括支援センター等から相談を受け、本人の状況などを調査、入所判定委員会にて審議し、老人福祉法第11条に基づき入所措置を行っている。 ○年1回、措置者と面談し入所継続の見直しを行っている。	B

3. 安心した在宅生活の支援

(1) 在宅福祉サービスの充実

① 栄養改善や見守りを目的とした配食サービス（高齢者福祉課）【9期計画 P99】

実施状況	評価
令和2年度のプロポーザルにより選定した3社と引き続き栄養改善や特別食を加えるとともに栄養士を配置し、見守りも含め随意契約で事業を実施した。	B

② 高齢者日常生活用具給付貸与事業（高齢者福祉課）【9期計画 P99】

実施状況	評価
本市に住所を有する65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象とし、申請が認められた者に日常生活用具を給付または貸与している。	B

③ 緊急通報装置貸与事業（高齢者福祉課）【9期計画 P100】

実施状況	評価
在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急事態における日常生活上の不安を解消し、もって在宅高齢者等の福祉の増進を図った。	B

④ 紙おむつ給付事業（高齢者福祉課）【9期計画 P100】

実施状況	評価
ねたきり又は認知症の高齢者にテープ止め、はくパンツ、フラット、尿とりパッドのうち1種類を月30枚（尿とりパッドは月90枚）給付した。	B

⑤ はり、きゅう、マッサージ助成（高齢者福祉課）【9期計画 P100】

実施状況	評価
要件を満たした対象者に1枚500円の利用券を月1枚交付した。（交付人数：717人）	A

⑥ 高齢者タクシー利用助成（高齢者福祉課）【9期計画 P101】

実施状況	評価
交付要件を満たした対象者に、申請月に応じてタクシー券（1枚最大500円まで、ひと月あたり3枚分）を交付した。	B

⑦ 移動・交通手段の主要施策の推進 (地域政策室・障がい福祉課・高齢者福祉課) 【9期計画 P101】

実施状況	評価
○交通事業者に対してバリアフリー車両の導入促進に向けて働きかけを行った。 ○県及び県内51市町村等で組織される千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、国及びJRに対し要望活動を行った。なお巖根駅において、JRによるスロープ設置を含めた東口改札の新設工事が完了し、令和6年12月から供用開始されたことに伴い、岩根人道跨線橋へのエレベーター設置(令和6年1月供用開始)と合わせ、バリアフリー化が進展した。 ○富来田地区まちづくり協議会による自家用有償旅客運送「ふくちゃんバス」の運行を継続して支援するとともに、他地区への導入促進に向け、地区まちづくり協議会等に対して説明を行った。バス事業者とともに路線網再編に向けた検討を行った。(地域政策室)	B
身体障害者手帳1・2級及び療育手帳A以上の障害児者に対し、1枚500円のタクシー券を、ひと月当たり3枚、腎臓機能障害1級の方にはひと月当たり6枚を、それぞれ交付している。(障がい福祉課)	B
○障がいのある高齢者の方については、地域生活支援事業の移動支援を利用することができ、余暇活動や買い物等の際、ヘルパーの付き添い支援を受けている。 ○視覚障害の方については、障害福祉サービスである同行援護の利用により、同様に余暇活動や買い物支援等を受けている。(障がい福祉課)	B
○総合事業対象者に向けた移動支援サービスについては、希望する団体がいないため、実施できていない。 ○タクシー券の交付については、引き続き対象者への交付を行っている。(高齢者福祉課)	C

(2) 家族介護者への支援

① 家族介護教室の開催(高齢者福祉課) 【9期計画 P103】

実施状況	評価
【R6年度 教室内容】 7月 「正しい薬の使い方とかかりつけ薬剤師の活用」 9月 「リハビリの専門家とともに考える、自分(介護者)と相手(要介護者)」 10月 「介護に関わる薬局のサポート事業」 10月 「排泄の介助、介護の基本と腰痛予防など」 11月 「ご自宅で安心して過ごせる為の介助方法を学ぼう」 11月 「最新の福祉機器や福祉用具を体験してみよう」 2月 「排泄の介助について知ろう」 合計 7回開催 64名	B

② 認知症高齢者見守り事業(高齢者福祉課) 【9期計画 P103】

実施状況	評価
認知症により徘徊のおそれがある高齢者等の安全の確保と介護者の精神的負担の軽減を図るため、衣類や持ち物に貼ることができる「見守りシール」を交付。(杖などの持ち物に貼るシールと、服や帽子などにアイロンで貼り付けるラベルの2タイプのセット) 見守りシールに印字された二次元バーコードをスマートフォン等で読み取ると、家族などの介護者に発見通知が送信され、発見者とインターネット上の伝言板でやりとりができるシステム。 【交付枚数】1セット 50枚(耐洗ラベル40枚、蓄光シール10枚)	B

③ 認知症家族交流会の開催(高齢者福祉課) 【9期計画 P103】

実施状況	評価
毎年、年3回の開催を計画しており、計画どおり開催した。	B

④ 家族介護者への適切な支援（こども家庭支援課・福祉相談課・障がい福祉課・高齢者福祉課）【9期計画 P103】

実施状況	評価
要保護児童対策地域協議会実務者会議を年12回開催し、ヤングケアラーに該当する家庭においては、早期解決に向け教育や福祉などの関係機関と個別支援会議を実施し、適切な支援を行った。（こども家庭支援課）	B
生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業を通じ、制度の狭間に陥りやすい複合的な課題を抱える家庭に対し多機関で連携をし包括的に支援を行うことができるよう取り組んだ。（福祉相談課）	
○障害福祉サービスの利用など、対象者の状況に応じて対応している。 ○障がい者やその家族の総合相談窓口として、基幹相談支援センターに精神保健福祉士、社会福祉士、保健師、精神保健福祉相談員、聴覚障害者相談員を配置し、相談支援を行うとともに、他機関との連携を図っている。（障がい福祉課）	
○高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを設置し、相談支援を行っている。 ○重層的支援体制整備事業の連絡会へ参加し、多問題家庭への支援について多機関と連携を図り取り組んだ。（高齢者福祉課）	

(3) 高齢者の居住安定に向けた取り組みの推進

① 民間賃貸住宅等を利用した居住支援（住宅課）【9期計画 P104】

実施状況	評価
市民や市内関係各課へ、入居を拒否しない住宅の情報提供や家賃債務保証に関する情報提供を行った。	B

② 多様な住まいの推進（介護保険課）【9期計画 P104】

実施状況	評価
事業計画で位置付けた施設の整備に向け、整備事業者選定委員会の委員構成見直しやそれに伴う条例改正等に対応した。	B

**基本方針３：充実したさまざまな介護サービスが継続して利用できるように
～介護保険サービスの充実と事業の適正な運営～**

１．介護サービスの充実

(１) 在宅サービスの充実

① 在宅サービスの充実（介護保険課）【９期計画 P105】

実施状況	評価
○介護保険パンフレットや市の広報誌、ホームページの活用を積極的に活用し、介護保険制度の周知、利用促進を図ることで、利用者が安心して介護サービスを受けられる体制を整えた。 ○また、事業計画で位置付けた看護小規模多機能型居宅介護の整備に向け、整備事業者選定委員会の委員構成見直しやそれに伴う条例改正等に対応した。	B

(２) 施設・居住系サービスの充実

① 介護保険施設の充実（介護保険課）【９期計画 P106】

実施状況	評価
事業計画で位置付けた施設の整備に向け、整備事業者選定委員会の委員構成見直しやそれに伴う条例改正等に対応した。	B

② 認知症高齢者グループホーム家賃助成事業（介護保険課）【９期計画 P106】

実施状況	評価
令和６年度は、延べ人数３５人、７事業所に対し助成を行った。	B

２．介護保険事業の適正な運営、自立支援型ケアマネジメント及び重度化防止の推進

(１) 介護保険給付の適正化（市町村介護給付適正化計画）

① 介護給付費適正化事業（介護保険課）【９期計画 P108】

実施状況	評価
○認定調査票の全件二重点検 ○住宅改修、福祉用具購入の申請時における写真等による全件二重点検 ○年４回、給付費通知の発送	C

(２) 介護保険情報の充実

① 介護保険制度の趣旨の普及・啓発（介護保険課）【９期計画 P109】

実施状況	評価
○介護保険の要介護認定申請からサービス利用までの流れや介護保険サービスの内容を主に掲載したパンフレットを作成し、要介護認定申請時や介護保険の利用に関する相談に来庁された市民やその家族に配布した。 ○市内公民館にパンフレットや介護事業所一覧等のリーフレットを設置し、日頃の介護保険制度の周知に努めた。	B

(３) 介護人材確保の支援

① 介護人材の確保・育成（介護保険課）【９期計画 P110】

実施状況	評価
千葉県介護に関する入門的研修の共催や、千葉県社会福祉協議会の就職相談のイベントについて、広報紙やホームページで周知を行った。	B

② 介護職員初任者研修費用助成事業（介護保険課）【９期計画 P110】

実施状況	評価
令和６年度は２件の申請があり、計４万円の助成を行った。	C

③ 介護職種外国人技能実習生日本語学習支援事業（介護保険課）【９期計画 P110】

実施状況	評価
令和６年度は補助実績はなかったものの、外国人介護人材の受け入れを推進するための日本語学習支援事業について関係法人への働きかけを行った。	C

(4) 介護サービスの質の確保・向上

① 地域密着型サービス事業者等への指導等（介護保険課）【9期計画 P111】

実施状況	評価
○集団指導 市内事業所に対して1回実施。（Zoomによるオンライン開催） ○運営指導 21事業所に対して実施。 →地域密着型サービス 13事業所 ・地域密着型通所介護 6事業所 ・認知症対応型通所介護 1事業所 ・小規模多機能型居宅介護 1事業所 ・看護小規模多機能型居宅介護 1事業所 ・認知症対応型共同生活介護 2事業所 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 2事業所 →居宅介護支援 8事業所	A

② 木更津市ケアマネジメント研究会との連携（介護保険課）【9期計画 P111】

実施状況	評価
介護給付に関する問い合わせや相談に対応するための知識を向上させる必要がある。	B

③ 介護相談員派遣等事業（介護保険課）【9期計画 P111】

実施状況	評価
介護相談員を2名配置し市内の介護保険サービス事業所へ派遣を実施した。 利用者との面会は、感染症対策により引き続き一部制限があるが、施設等では管理者等と面会するなど、できる範囲での活動を実施した。	B